歯ド痛くなる前に…!!

健康なからだは健康な歯から

文明が進むにつれて、ムシ歯も増えてきました。ことに、日本人の96%の人はムシ歯を持っており、壮年期の人の90%は、シソーノーローの何らかの症状があるといわれています。

ムシ歯は、皆さんよくご承知のように、歯に穴があいて、痛みを伴う病気です。また、案外知られていませんが、ムシ歯は、他の病気の原因にもなります。

たかがムシ歯くらいとバカにしていると痛い目にあいます。早目に治療しておきましょう。

ムシ歯はなぜできるか

ムシ歯は、突然悪くなるという病気ではなく、皆さんの気がつかないうちに進んでいます。

では、ムシ歯は、なぜ起こるのでしょうか。硬い歯に、なぜ穴があくのでしょうか。説はいろいろありますが、その直接的原因は、食物の残りカス、糖分、でん粉質が、乳酸菌やブドウ状球菌などによって酸酵作用をおこし、歯の表面の硬いエナメル質の組織を溶かすことから始まります。

そのほか、ムシ歯の間接的原因としては、左上のようなことがあげられます。

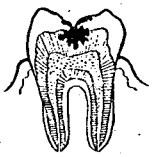
ムシ歯の進みかた

ムシ歯は、突然悪くなるものではなく、徐じょに進行しますが、大きく分けて、三つの時期に分けられます。

第一期

症状　歯をとかす細菌がエナメル質をおかし、小さい穴をあけます。おかされた所が黒ずんで見え、ときどき水がしみる程度で、痛みはほとんどありません。図のように、穴は小さくても奥の方はかなり進んでおり、やがて冷たい水、冷たい空気、甘いものが強くしみるようになります。

エメナル質や象牙質の部分がおかされる



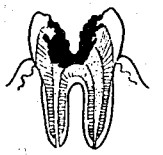
この時期に治療を

この時期のムシ歯は、治療すれば二〜三回通うだけでなおり、しかも軽費ですみます。穴には、白い合成樹脂や金属をつめます。

第二期

症状　細菌が歯の神経の部分、つまり歯髄をおかしたときの状態です。エナメル質や象牙質に大きな穴があきます。食後急に歯痛が出てしばらく続き、ベッドにはいったり、風呂で体が暖まったりすると痛くなり、突然ズキンズキンする激しい痛みがおこるなど、症状もいろいろです。

穴はいっそう深くなる
いっそうおかされる
り歯髄もおかされる



歯は補修で使える

歯髄をとり、根の中を治療してから歯の穴に金属をつめ（充塡）たり、金冠をかぶせたりします。

お買物、ご用命は市内で

お気軽に御来店下さい
サラリーローン
商人の方，事業家の方，どなたでも信用でお貸し致します
(株) 毛利金融新津支店
新津市新町1丁目6番6号　TEL (4) 4501

クリーニング
新鋭機導入謝恩サービス券進呈
朝9時半まで持込みは当日仕上がり
持込み料金2〜3割引
近代的設備高級仕上 マルヤ
本町1丁目 TEL 2−0739 定休日 1・10,20日
新津駅 新潟交通 駅から3分

第三期

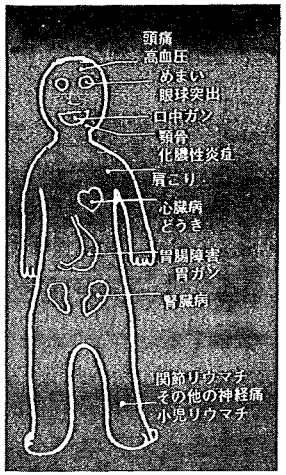
症状　ムシ歯が進んで象牙質が大部分おかされ、歯の根だけが残ったような状態です、歯髄は死滅し、歯の根の先に病変が残ります。疲れたときや熱を出したときなど、その部分がはれて痛み、あごの下のリンパ腺もはれることがあります。

歯冠がくずれ歯根の先までおかされる

歯は使えない

歯根の中を治療して、根だけでも残すようにする場合と、やむをえず抜歯する場合があります。ときには、根の先を手術して残すこともあります。

第三期くらいになると、ムシ歯の穴からくされた臭いがするようになり、歯が浮いて痛みが持続し、リンパ腺がはれて熱が出る場合があります。このまま放置しておくと、骨膜の下に膿（うみ）がたまり、体のどこかに不快を感じるようなことが起こり始めます。この化膿菌の素毒は強く、体力の弱っている時などは、敗血症などを起こし、生命にかかわることがあります。



ムシ歯から思わぬ病気

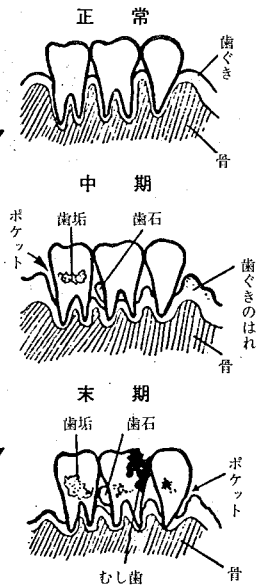
ムシ歯やシソーノーローが進むと、胃腸障害、肩こり、頭痛、めまい、動悸ばかりでなく、病巣感染をおこして、腎臓病、心臓病、神経痛、関節リゥマチ、小児リゥマチ、高血圧、胃ガン、口中ガンの原因にもなります。

ムシ歯を長い間ほっておくと、心臓の筋肉がおかされることがはっきりわかっています。てっきり心臓病と思いこんでいた人が歯を治療したら、心臓の方もよくなったというくらいに影響があるので、ムシ歯くらいと軽く思うことはまちがいです。

ムシ歯予防のきめて

食後三分間くらい、ゆっくり時間をかけて歯をみがき、歯の表面につく歯垢や食物の残りを取除くのが最良の方法です。フッ素塗布やフッ素水のうがいも良いといわれていますが、これについては、学者の間でも異論が出ており、食後の歯みがきにまさるものはなさそうです。ある先生は、〝歯みがきも治療のうち〟とまでいっておられます。

また、歯みがきだけではなく、歯の抵抗力を強めることも大切です。カルシゥムは、歯の内部から強くするので、カルシゥムの多いもの（小魚とか牛乳など）をとるとか、野菜、肉など、繊維の多いもの、歯ごたえのあるものを食べることは、歯を強くし、シソーノーローの予防にもなります。



歯ぐきにも気をつけて

シソーノーローは、三十五歳をすぎると、軽い重いの差はあっても、ほとんどの人がこの病気におかされているといわれています。シソーノーローは歯におこる地盤沈下のようなもので、歯と歯ぐきの間にふくろ（ポケット）ができ、そこに細菌が住みついておこる病気です。最初、歯ぐきが赤くなり、歯をみがく時出血し、さらに進むと膿（うみ）を持ち、口臭が出たり、口の中が粘っこく、不快な症状となります。

シソーノーローのもっとも大きな原因は、歯垢（口の中のよごれ）です。歯垢にはたくさんの細菌がいて、それが出す酵素や毒素のため、だんだんのうちに歯肉が破壊されるのです。歯垢は石灰化して歯石となって歯のまわりにつきますが、これができると、そこに歯垢がつきやすくなります。

その他、よく合っていない義歯や金冠、古くなった義歯、歯の間にはさまる食べ物なども歯垢がたまりやすいのです。また、口をあけている習慣は、歯内粘膜が直接空気にふれることにより、その抵抗力を弱め、シソーノーローにつながります。舌の先で歯をおしたり、上下の歯を無意識にかみしめる習慣なども原因の一つになります。

シソーノーローのかなり進んだものは、歯ぐきのふくろを手術でとってもらいましょう。歯がぐらついてきたり、食べ物が歯にはさまったりする場合は歯を調整し、金属などにより固定することもあります。ひどいものは抜歯しますが、そんな状態になるまで放っておかないことがたいせつです。

お買物、ご用命は市内で

東芝ストア
より良いサービスと楽しい暮しに奉仕する店
東芝
(株) 八重電商事
本町二　TEL 4−3131(代)

気軽にゾニー製品が買える店
株式会社 SONY SHOP サウンドモロハシ
新津市本町三丁目（にいつフードセンター前） TEL 27131